

(臨床研究に関するお知らせ)

非小細胞肺癌のため当院で手術し、術後リハビリテーションを受けられた患者さん

およびご家族の方へ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会で承認され、院長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

肺切除術を受けた非小細胞肺癌患者の胸腔ドレナージ期間が術後の骨格筋量に与える影響

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 沖本 由菜

3. 研究の目的と意義

非小細胞肺癌は外科的治療が標準治療であるが、手術侵襲に伴うストレスや不活動で手術関連骨格筋量減少が生じると言われています。しかし、術後骨格筋量低下が生じる場合の要因は明らかではありませんので、今回調査させていただきます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

非小細胞肺癌の患者さんで、2021年8月1日から2025年3月31日までの期間中に、当院で外科的治療（手術）を受けた方のうち術後リハビリテーションを受けられた患者さま

(2) 研究期間

院長による研究実施許可日～2026年2月28日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

入院前・退院時のリハビリテーション関連項目（入院日・手術日・退院日・リハビリテーション実施期間・ドレーン抜去日・握力・大腿四頭筋筋力・骨格筋量指数・6分間歩行距離などの運動機能評価）です。

(5) 方法

当院で電子カルテより情報を収集し、解析を行います。

5. 試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんおよびご家族（代理人）の方には、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 試料・情報の二次利用について

二次利用しません

9. 資金源及び利益相反等について

資金源及び開示すべき利益相反はありません。

10. 問い合わせ先

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科

担当者：沖本 由菜

住所：大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

TEL：072-681-3801 FAX：072-682-3834

E-mail：toyomitsu.yuuna @aijinkai-group.com